

NEUTRAL 通信 vol.14

「まるで本屋に立ち寄るかのように、アートやクラフトを気軽に楽しんでもらいたい」という NEUTRAL のコンセプト実現に向け、NEUTRAL 通信を発行しています。

第14回目は NEUTRAL にて展覧会を開催中のハタヨシユキさん。

NEUTRAL 通信が作品鑑賞のヒントとなりますように。

「シグナル」

2024.6.22sat. - 7.14sun.



画家

ハタ ヨシユキ / YOSHIYUKI HATA

京都市生まれの画家。2014年京都精華大学イラスト学科入学、2018年に中退。2021年秋に京都府綾部市へ移住して制作活動を行う。自身を取り巻く綾部の風景の絵と、それに対応する鮮やかな色彩で描くシリーズ「ハタ語」を主に制作している。2023年綾部市を中心にアートとフードを組み合わせたイベントを主催。2024年4月堀川商店街にあるギャラリー 2122にて「ハタヨシユキ個展 -存在-」を行った。

堀川新文化ビルディング 館内インフォメーション

大垣書店
OGAKI BOOKSTORE

5月の連休も終わり、梅雨もいよいよよってきました。過ごしやすい日々はあっという間に終わりジメジメした季節が目前までできています。書店店頭では、話題書や季節の商品や堀川でしか買えない商品など、様々取りそろえています。普通の本屋さんのちょっと斜め位の当店をぜひ楽しんでください。

営業時間：10:00~22:00 TEL：075-431-5551



蒸し暑い季節がやってきます。そんな季節にぴったりなSlowPageのフラッペ「マンゴースロップ」近日リリース予定です！甘くてさわやかな味に仕上げました。フラッペとスローページを合体させてネーミングしました！商品名の感想をスタッフまでお待ちしております♪

営業時間：8:30~23:00 TEL：075-431-5551

SHOKODO
KYOTO

京都昌幸堂のブランドサイトのリニューアルをしました。印刷と工芸の新たな組み合わせを見ていただけるサイトになっており、これまでの実績や展示記録なども掲載。サイト内のSHOPでは海外への発信を始めた越境ECサイトもご覧いただければ幸いです。



昌幸堂



EC Site

営業時間：10:00~18:00 TEL：080-4248-3432 月・日祝 定休

NEUTRAL
HORIKAWA

このたび NEUTRAL は4月から会場のレイアウトを変更して、POP-UP スペースをオープンしました！展覧会に関連する商品はもちろん、今後は注目の作家の小作品やクラフト季節のグッズなどを取り扱う予定です。2階へお越しの方は、ギャラリーでの作品展示に加えてPOP-UP スペースにもぜひお立ち寄りください。また、POP-UP で取扱いの商品は NEUTRAL Online でも販売予定ですので、そちらでもお買い物をお楽しみください！

営業時間：10:00~19:00 TEL：075-431-5537

Gallery P A R C
GRAND MARBLE

scenario Notes 阿児つばさ / 2024.06.29sat. - 07.21sun.
ギャラリー・パルクは阿児つばさのアトリエになって、過去作品やこれからの作品プランが見れたり、毎週土曜日は「創作活動の日」としていろんなものをつくり、日曜日は「対話の日」としてゲストをお招きしているんなお話をしたり、月曜日は「作品についての話をしたりする日」として、自作について話したり、たまに楽器の練習をしたりします。

営業時間：13:00~19:00 TEL：075-334-5085 水・木 定休
毎週土曜のみ 10:00~19:00 開廊

堀川新文化
ビルディング
HORIKAWA
NEW CULTURE BLDG.
KYOTO

〒602-8242 京都府京都市上京区皂莢町287

[アクセス]

○地下鉄東西線「二条城前」駅より徒歩15分

○京都市バス9番・12番・50番・67番系統

「堀川中立売」バス停下車徒歩1分

○駐車場・駐輪場あり

※満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

ホームページ



Instagram



お問い合わせはHPまで



——子どもの頃のことをお聞かせください。

映像の仕事をしている父と、服飾デザイナーの母という家庭に生まれ、絵やデザインが身近な環境で育ち、小さい頃からよく絵は描いていました。特に色を塗ることが好きで、絵の輪郭を太くして、中身をしっかりと塗りつぶして、今の作品に通じるところがあるかもしれません。また、小学生になると、漢字の成り立ちや虫など自分の好きなものをテーマに手製の図鑑をつくって楽しんでいました。

——美大に入ってからのことを教えてください。

デザイナーを目指して美大のデザイン学部イラスト学科に入学。勉強を始めてから、デジタルでの表現が苦手だということに気づき、基礎を学びながら手でグラフィックデザインのような絵を描くようになりました。この頃は自分の表現スタイルに自信が持てず、作風も次々と変え、不安を抱えながらも悶々と制作をしていました。大学には4年通いましたが子どもを授かったことを機に中退、祖父の家業である左官職人になりました。それからは慣れない仕事と生活環境の変化で夜も眠れないことが増えて、精神的にも参ってしまっていました。絵を描くどころではなくなっていました。

——絵を再開したきっかけを教えてください。

絵を描かなくなってから約3年間は、働いたり、働けなかったりの繰り返しで、生活面も精神面も不安定な生活を送っていました。コロナ禍で外出できない時期に、観葉植物を植えるための植木鉢に家族でペイントすることになり久しぶりに筆を持って……。そこから絵を描く楽しさを思い出し少しずつ風景画を描くようになりました。

——人生の転機となった出来事がありますか？

絵を再開後、義父から綾部に使っていない空き家があるから住んでみないかと話がありました。不安はありませんが現状から脱したくて住み慣れた京都から引っ越しを決断。それが転機となりました。綾部に移住後、全てのことにいちいち感動している自分がありました。空の広さ、山の近さ、空気のきれいさなど、「生きていく」という実感にあふれる毎日。友人もすぐにでき、京都では埋もれてしまいそうな自分の存在もここでは確かに感じるようになりました。絵も素直に自分の描きたいものを描くというスタイルに変化。自分を自由に表現できる喜びが大きくて、他人の評価も気にならなくなりました。この場所が自分を再生させてくれたので、今後も綾部を起点に絵を描き続けたいと思っています。

——影響を受けた作家の方はおられますか？

草間彌生さんです。彼女が75歳から制作しはじめた「愛はとこしえ」シリーズを展覧会で観たとき、圧倒され打ちのめされました。年を重ねてなおこんなにも新しく芽生える感情を作品に昇華することができ、それが観に来た人に影響を与えることができるんだ、と感動したのです。この経験ができるだけ長く作品を描き続けていきたいと思うきっかけになりました。

——どんな環境で絵を描いていますか？

静かな環境で描くのが耐えられなくて……。学生の頃は音楽を聴いたり友達と電話で話ながら、最近はポッドキャストでラジオを聞きながら絵を描いています。

——展覧会を見に来た方にひとこと。

意志を伝えるために約束された、言葉以外の手段、それが展覧会のタイトルにもなっている「シグナル」です。今回、生活の中で触れた綾部の風景から受けたシグナルを絵にした「ハタ語」と名付けた作品を一斉に展示しています。絵から発されたシグナルを浴びるように受け取って、受け取ったものをまた別の人に伝播してもらえると嬉しいです。



お気に入りの本

『サピエンス全史 上』河出書房新社 ユヴァル・ノア・ハラリ／著 柴田裕之／訳

『チェンソーマン』集英社 藤本タツキ／著

『もこもこ』文研出版 谷川俊太郎／作 元永定正／絵